

平成30年9月6日

Press Release

富山市
福祉保健部 保健所保健予防課
結核・感染症係
電話 428-1152 (直通)

パラチフス患者の発生について

このことについて、次のとおりお知らせします。

記

1 患者の発生状況

- (1) 患者 男性(20歳代)
- (2) 経緯 8月17日(金)入国
28日(火)発熱が出現した。
31日(金)発熱が持続し、関節痛、嘔気嘔吐、悪寒戦慄が出現したため
近医を受診して抗菌薬等の処方を受けた。
9月 3日(月)症状が持続し、入院した。
5日(水)パラチフスと診断された。
- (3) 症状等 抗菌薬投与により、軽快している。

2 患者及び感染源調査

- (1) 患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- (2) 患者の健康状況調査を実施

3 対応

- (1) 患者及び接触者に対し衛生教育を実施
- (2) 患者自宅等の消毒を指示

予防対策について

- 食品は十分に加熱したものを食べましょう。
特に海外では、生水、氷、生肉、生野菜等には注意しましょう。
- 食事の前は十分に手を洗いましょう。
- 海外からの帰国後、高熱等が見られる場合は速やかに医師の診察を受けましょう。

【報道機関へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。

【参 考】

① 県内のパラチフス発生状況

(1) 富山県

平成30年	1名	(うち富山市1名 本事例を含む)
平成29年	0名	

(2) 全国

平成30年(本事例を含まない)	13名	(8月29日現在)
平成29年	14名	(暫定値)

② パラチフスとは

パラチフスは、パラチフス A 菌による全身性の感染症であり、感染した人の便や尿に汚染された水、氷、食べ物を取ることによって感染する。

通常、7～14日の潜伏期間の後に、高熱、頭痛、全身倦怠感、便秘等の症状が出現する。重症例では、腸管出血や腸管穿孔等の症状が見られる場合もある。

治療は、抗菌薬の投与を行う。